N. 41. 4									** * **				
学科名						プロフェ	ッショ	ナルデ	ザイン科	•			
分類	必修	$\circ$	必須 選択		学年	1	年	学期	前期	$\circ$	後期		
授業科目名									単位				
ソーイング I 2.5単位													
担当教員		井	牛手 真由	Ī		科目区分	講義		演習		実習	100%	
実務網	実務経験者の授業科目    本験   大容									里業務に 軽践的な			
授業と	:の関連性	:				各アイテム 移様な衣料の						<b>్</b>	
授業目的	縫製技術の	基本	を身に付け	、各種	アイテムの	基本的な仕	康、工程	是、構造を	製作すること	こで学ぶ。			
1文未日町	製作を通し	て、布	地の扱い力	ī、ミシ	ン、針との	関係を学び、	基礎技	術を身に位	付ける。				
刘泽日福	基本的な製	製図を理	理解し、工業	き用パ	ターンを集	と作できるよう!	こなる。						
判连日保	到達目標												
						授業概要							

製作を通し、作業スケジュールを自分で管理出来るように指導。製作したものはシルエットチェックを行い、スタイリング提案、プレゼン能力を養う。また、製作物を染色するなど、他授業との連携を図る。

-1.11-	\land to the total and the tot	
時期	コマ数	授業内容(授業展開)
	8	ミシン・道具について 基礎縫い・縫い代始末について理解・習得する ・針と糸の関係、ミシンの使い方習得・縫い代始末、ミシン縫い、手まつり、雑巾製作
4月	12	スカート(裏無し)製作 *ウエストギャザー仕様 ・スカートの構造を学び、WとH寸法の差を処理する方法を理解する ・工業用パターン、仕様書、工程分析表を理解する。 ファーストパターン作成、工業用パターン作成、裁断、縫製
- 0		ワンピース製作 ※製作後、素材で製品染め
5月	12	*ワンピースの基本構造を知る *コンシールファスナー付けを習得する *身体の形状への理解を深め、胸ぐせダーツ、ウエストダーツの展開を理解する
		ファーストパターン作成、工業用パターン作成、裁断、縫製
6月		パンツ製作 *パンツの基本構造を知る
0)1	31	*工業用パターンの作成、仕様工程、スケジュールに沿った作業が出来るようになる。 (切替ポケット、シームポケット)
7月	01	※各自デザイン(条件…ポケット付、持出し・見返し付ファスナー、丈は膝より長い事) ファーストパターン作成、仮縫い、パターン修正、工業用パターン作成、裁断、縫製
8月		
9月	10	【ジャケット・タイトスカート】 *総裏仕立てのジャケット製作、裏付きのタイトスカート製作 ファーストパターン作成、仮縫い、パターン修正、工業用パターン作成
留意	事項	
教材、	資料等	文化ファッション体系『スカート・パンツ』『ブラウス・ワンピース』『ジャケット・ベスト』 ヒロ・デザインジャケット冊子、プリントコピー
	方法 •比重	・製作物75%・提出物(レポート)10%・取組姿勢15% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89~80)(GP 3点)、良(79~70)、 (GP 2点)可(69~60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。

学科名						プロフェ	ッショ	ナルデ	ザイン科			
分類	必修	$\circ$	必須 選択		学年	1	年	学期	前期		後期	0
			授業	科目	名					単	位	
			ソー	インク	řΙ					2.5	単位	
担当教員		爿	牛手 真由	İ		科目区分	講義		演習		実習	100%
実務網	経験者の	,		0	経験 内容	経験年数:3º ルメーカー、 従事。アパレ 企画・デザイ	ニット・ガ ル衣料 ン、縫集	bットDIVに の企画製 <sup>。</sup> 製技術、衣	て企画デサ 作、商社。海 服の取扱い	デイナー及 野外生産等 等を活か	び生産管理 等で培った実 し、指導する	里業務に €践的な
授業と	の関連性					各アイテム 移様な衣料の						5.
授業目的	縫製技術の	り基本	を身に付け	、各種	アイテムの	基本的な仕	様、工程	足、構造を	製作すること	で学ぶ。		
<b>汉</b> 耒日的	製作を通し	て、布	地の扱い力	ī、ミシ	ン、針との	関係を学び、	基礎技	術を身に位	付ける。			
刘泽口福	基本的な製	製図を理	理解し、工業	き用パ!	ターンを集	単作できるよう!	になる。					
判连日倧	到達目標											
						授業概要	i					

製作を通し、作業スケジュールを自分で管理出来るように指導。製作したものはシルエットチェックを行い、スタイリング提案、プレゼン能力を養う。また、製作物を染色するなど、他授業との連携を図る。 後期は商品としてのチェイズといる場合等理・生産管理を同時に行い、理解を深める

後期は商品。	としてのモノ	づくり、品質管理・生産管理を同時に行い、理解を深める。 
時期	コマ数	授業内容(授業展開)
10月	18	[ジャケット] *総裏仕立てのジャケット製作を通し、ジャケットの基本構造を知る *工業用パターンの作成、仕様工程、スケジュールに沿った作業が出来るようになる。 ※各自デザイン(条件…ポケット付、テーラードカラー、2枚袖) ファーストパターン作成、仮縫い合わせ、パターン修正
11月	20	工業用パターン作成、裁断、芯貼り、縫製  〔裏付きタイトスカート〕 *裏付きタイトスカートの製作を通し、布目の重要性、立体的構造を理解する。 ※ドレーピングでおこしたパターン使用 (ウエストインベル仕様、ベンツ)  ドレーピングパターン使用、パターン確認、修正 工業用パターン作成、裁断、芯貼り、縫製
12月	13	
		シャツブラウス製作
1月	15	商品としてのモノづくりについて学ぶ 衿の考え方・袖の考え方(傾斜の違いについて)を理解する。 工業用パターン、仕様書、工程分析表を理解し、仕事の効率を学ぶ。
2月	10	
3月	8	商品知識の習得、お直しについて オリジナルアイテムの作成
留意	事項	
教材、資	資料等	文化ファッション体系『スカート・パンツ』『ブラウス・ワンピース』『ジャケット・ベスト』 ヒロ・デザインジャケット冊子、プリントコピー
評価:		・製作物75%・提出物(レポート)10%・取組姿勢15% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良。(89~80)(GP 3点)、良(79~70)、 (GP 2点) 可(69~60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。

学科名					プロ	フェッショ	ナルラ	デザイン	科					
分類	必修	$\circ$	必須 選択		学年	1	年	学期	前期	0	後期			
	授業科目名									単位				
ドレーピング I 1単位														
担当教員		1	尹澤 愛			科目区分	講義		演習		実習	100%		
実務経験	実務経験のある教員等による 授業科目 とは 大手アパレルメーカー、東京コレクション参加ブランド、個人アトリエ、オーダー衣装メーカーにてパタンナーを経験。 現在もフリーランスの外注パタンナーとしてパターンやオーダーの 衣装制作を行い、研鑽を積んでいる。													
授	業との関	連性		のプロ	マセスを指シ	ーのパタンナー 尊。様々なメー 品製作ができ	カーで	の経験を活						
<b>运</b> 类日的		f基礎:	知識と平面	構成	と立体構	成を併用する	る理論と	:技術を修	≨得。					
汉未口叫	授業目的 ・立体裁断の意味・知識を理解し、基本アイテムのドレーピングテクニックと手順を身に付ける。。													
到達目標	・イメージをシルエットで表現し、完成度の高い形に具現化できるようになる。													
判定日保	•立体裁)	で作	ったパター	ンを理	<b>単論上</b> の知	田識と照合す	ることだ	ができるよ	うになる。					
						1-5 XII4 1000								

立体裁断とは何かについて実習を通して学ぶ。原型の展開が理解できると、ボディとシーチングとピンのみでバリエーション豊かなデザインを具現化し表現できることを伝える。ファッションデザインにおいて自由な創造力と発想力、そしてその表現テクニックを向上させる。

現テクニック	を向上させ	<u>්</u> රිං					
時期	コマ数	授業内容(授業展	開)				
4月	4	立体裁断とは 原型について ボディの種類 立体裁断の準備 ボディテープ貼り ・身体の凹凸を観察、理解する	CF,CB,WL,BL, HL,脇線、肩線、AH、補助線				
5月	6	<ul> <li>・布の布目を理解する</li> <li>・地直し、ピンの打ち方</li> <li>タイトフィッティング (ゆとりなし)</li> <li>・BWHの寸法の差分をダーツとして処理する方法</li> <li>・布目を理解する</li> <li>・ピンの打ち方、バランスを習得する</li> </ul>	地直しについて、ピン打ちの説明 次回のシーチング説明 目標線(ガイドライン)入れ 前身頃、前脇身頃つまみピン 後身頃、後ろ脇身頃つまみピン パランス調整、印付け				
6月	8	・トレース方法 ・原型との比較  衣服の基本形(ゆとりあり) ・原型の理解(ゆとりの有無) ・ダーツ展開の理解 ・タイトフィッティングの分割すると原型とタイトスカートへ ・ダーツ移動のデモンストレーション	折り伏せピン仕上げ パターントレース 原型配布 ワンピースパターンを使用し、トレース方法を説明 前身頃、後ろ身頃のダーツ、脇線ピン打ち トレースパターンの組み上げ 胸ぐせダーツの展開 ・ネックギャザー・円の切替え線				
7月	8	セミフレアー(kiiya原型)のデザイン展開・ダーツを原 タイトスカート・ゆとり入りパターンの組み方	ゴアードスカートのバリエーション 長 タイトフィッティングとの比較				
9月	6	フレアースカート・ダーツのフレアー展開 小テスト					
留意	事項						
教材、資	資料等	文化ファッション体系アパレル生産講座③ 立作資料コピー	本裁断 基礎編、応用編、その他				
評価:		・立体裁断トワル・パターン70%・テスト20%・取組姿勢10% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良 <sup>°</sup> (89~80)(GP 3点)、良(79~7 0)、(GP 2点)可(69~60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。					

学科名					プロ	フェッショ	ナルラ	デザイン	科					
分類	必修	0	必須 選択		学年	1	年	学期	前期		後期	0		
			授業	科目	名				単位					
			ドレー	ピン	グI					1単	位位			
担当教員		ſ	尹澤 愛			科目区分	講義		演習		実習	100%		
実務経懸		ま務経験13年。大手アパレルメーカー、東京コレクション参加プロルターを発展である教員等による 経験 内容 提業科目 大手アパレルメーカー、東京コレクション参加プレド、個人アトリエ、オーダー衣装メーカーにてパタンナーを経り現在もフリーランスの外注パタンナーとしてパターンやオーダー衣装制作を行い、研鑽を積んでいる。									を経験。			
授	アパレルメーカーのパタンナーとして培った知識や技術を活かし、実用性の高い衣服製作 授業との関連性 のプロセスを指導。様々なメーカーでの経験を活かし、学生のアイデンティティを引き出しク リエイティブな作品製作ができるよう指導する。													
授業目的	•立体裁断	r基礎 <sup>2</sup>	知識と平面	構成	と立体構	成を併用する	る理論と	:技術を修	5得。					
(父来日的)	•立体裁断	で意見	床・知識を	理解し	、基本ア	イテムのドレ	ーピン	グテクニッ	クと手順を	身に付け	ける。			
到達目標	・イメージを	をシル	エットで表	現し、	完成度の	高い形に具	現化で	きるように	なる。					
判连日保	•立体裁)	で作	ったパター	ンを理	1論上の知	田識と照合す	ることだ	ができるよ	うになる。					
						授業概要								
	ザインを具3	「かについて実習を通して学ぶ。 原型の展開が理解できると、ボディとシーチングとピンのみでバリエーションを具現化し表現できることを伝える。 ファッションデザインにおいて自由な創造力と発想力、そしてその表可上させる。												
時期	コマ数	授業内容(授業展開)												
ヨーク切替えのボックスプリーツスカート ・ヨークへのダーツ展開とプリーツの構造 10月 6 ハイウエスト切り替えのワンピースドレス														
			・ワンポイントの表情を生かすデザイン											

時期	コマ数	授業内容(授業展開)
10月	6	ヨーク切替えのボックスプリーツスカート ・ヨークへのダーツ展開とプリーツの構造 ハイウエスト切り替えのワンピースドレス ・ワンポイントの表情を生かすデザイン
11月	8	ローウエスト切り替えのワンピースドレス ・切替え位置のバランス
12月	8	前立てのある前中心ギャザー ・胸ぐせダーツのギャザー展開
1月	4	ウエストからのドレープ ・胸ぐせダーツのドレープ展開
2月	6	衿のバリエーション ・スタンドカラー ・シャツカラー ・台衿付きシャツカラー
3月	6	・フラットカラー ・オープンカラー 小テスト
留意	事項	
教材、	資料等	文化ファッション体系アパレル生産講座③ 立体裁断 基礎編、応用編、その他資料コピー

・立体裁断トワル・パターン70%・テスト20%・取組姿勢10% \*試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良。(89~80)(GP 3点)、良(79~70)、(GP 2点)可(69~60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。

評価方法 対象·比重

学科名					プロ	フェッショフ	トルデ	ザイン科				
分類	必修	$\circ$	必須 選択		学年	1	年	学期	前期	0	後期	
			授業	科目	名					単	位	
			パターン	メーュ	Fング I					3単	<b>单位</b>	
担当教員		ŧ	中手 真由			科目区分	講義	100%	演習		実習	
実務網	圣験者の	受業利		$\circ$	内容	経験年数:3: ルメーカー、 従事。アパレ 企画・デザイ	ニット・オ ル衣料( ン、 縫製	ットDIVに の企画製( !技術、衣)	て企画デザ 乍、商社。海 服の取扱い	イナー及 外生産等 等を活か	び生産管理 等で培った実 し、指導する	業務に 践的な
授業と	の関連性	, , ,				を基に、各アイ な衣料のデザ						
授業目的	・基本的なパターン作成、展開の理論を理解する。 目的 タチスステムの基本的な分類 エモながど											
	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・											
到達目標		作成するデザイン、アイテムによって適した原型操作ができるようになる。										
		授業概要										
製作を通し、	作業スケジ: 。また、製作	ュール	を自分で管 枠色するなと	理出ラ	挟るように扌 受業との連	旨導。製作した 携を図る。	こものは	ンルエット	チェックを行	い、スタイ	リング提案、	プレゼ
時期	コマ紫	文					授美	<b></b>				
4月	9		【原型につり 【スカートに スカートの構 タイトスカー 【ワンピース	いて】 つい 造を学 ト、セ につい	立体と平面( て】スカート び、ウエス( ミタイトスス ハて】ワンと	ペターンメーキ について、ダー とは、名称・ラト寸法とヒップ マ フート、フレアン ピースとは 名	ツとは、タ ディテー/ 法の差を スカート、	「一ツ移動と いについて か理するフ ギャザー	:分散、胸ぐt て 方法を身に付 スカート	tダーツを <sup>・</sup>		展開
5月	11			工程をついた。造べれ、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	分析 】パンツとに パンツの基 、ワイドパス 程について	遊線を理解す ンツ、ベルボト		ズパンツ				
6月	12		・2面構成の ・4面構成の ・3面構成の ・衿の製図 ・2枚袖、1材	テール つジャク ラジャク テー 文半袖	、ジャケッケット ケット パネケット マ テット マ ラードカラ	ットとは トの構造を学さ トルライン・プ! ニピュレーシ! ー、ピークトラ	ンセスラ シ展開 ペル、シ	ライン について ィョールカラ	<b>7</b> —			
7月	7			インの 材につ ート、t	ジャケット/ ついて <i>マ</i> ミタイトス	パターン  カート、フレア		•	スカート			
9月	5		【シャツにつ	oいて) ャツ袖	シャツとに	、の仕様・工程 は 袖の違いを理						
इस रं∕ः =	+	مالد جما	<i>(4</i> , 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1,	L1 12	/ <del>/ </del> ज्ञा ः	TH 477- VA		1 1.5				

留意事項 授業後はノートまとめ、復習をし、理解を深めることとする

教材、資料等 文化ファッション体系『ジャケット・ベスト』、『スカート・パンツ』
ヒロ・デザインジャケット冊子、その他資料

評価方法
対象・比重 ・テスト70%・提出物(レポート含む)20%・取組姿勢10%
\*試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良。(89~80)(GP 3点)、良(79~70)、(GP 2点)可(69~60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。

学科名		プロフェッショナルデザイン科										
分類	必修	$\circ$	必須 選択		学年	1	年	学期	前期		後期	$\circ$
			授業	科目	名					単	位	
			パターン	メーキ	Fング I					3単	位	
担当教員		ŧ	牛手 真由			科目区分	講義	100%	演習		実習	
実務網	経験者の	授業		0	経験 内容	経験年数:34 ルメーカー、 従事。アパレ 企画・デザイ	ニット・オ ル衣料 ン、縫製	nットDIVに の企画製。 !技術、衣	て企画デサ 作、商社。海 服の取扱い	・イナー及 ・外生産等 等を活かし	び生産管理 で培った実 ノ、指導する	皇業務に 経的な
授業と	の関連性	i				を基に、各アイ 食な衣料のデサ						
松米口铅	・基本的な	よパタ				理解し、自分						
授業目的	<ul><li>素材の物</li></ul>	持性を	理解し、素	材に企	合ったデ	ザイン、パタ・	ーン製作	作を理解	し応用でき	るようにな	なる。	
刘泽日福	<ul><li>素材、デ</li></ul>	゙゙ザイン	<b>ノ、</b> ターゲッ	小に合	うった、バ	パターン作成、	展開力	ぶできるよ	うになる。			
到達目標												
						授業概要						
ン能力を養う	。また、製作	スケジュールを自分で管理出来るように指導。製作したものはシルエットチェックを行い、スタイリング提案、プレゼ と、製作物を染色するなど、他授業との連携を図る。 のモノづくり、品質管理・生産管理を同時に行い、理解を深める。										
		授業内容(授業展開)										
時期	コマ紫	コマ数 授業内容										
10月	【シャツについて】						ついて理解	解すると共ん ラー、台衿ん			り、生産・品質	管理を学
11月	12		・シャツトのラ	デザイン デザイン	/バリエーシ	/ョンを広げ、応 /ョンを広げ、応 <i>)</i> ョンを広げ、応用	用力を身	に付ける				
12月	12		【グレーディングレーディンサイズ展開の 身頃のグレー オートのシスカートのシ	グとは )方法! ーディ ディン	こついて ング グ							
1月	7		【お直しにつ パターンの観 素材別、アイ	見点から		しについての理	解を深め	つる。				
2月	9		【応用パター・ジャケットの		ンバリエー	ションを広げ、原	芯用力を:	身に付ける				
3月	6		【パターン・南 PM検定2級(			知識として身に位	付ける					
留意	事項											
教材、資	資料等		ファッション <b></b> 色資料	体系	『ブラウス	く・ワンピース	<u> </u>	ケット・ベ	スト』			
	評価方法 対象・比重 ・テスト70%・提出物(レポート含む)20%・取組姿勢10% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89~80)(GP 3点)、良(79~70)、 (GP 2点)可(69~60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。											

学科名				プロ	フェッシ	ョナルデザ	イン科	・ファッシ	/ョンビジン	ネス科				
分類	必修	0	必須 選択		学年	1	年	学期	前期	0	後期			
			授業	科目	名					単位				
			服飾デ	ザイ	/論 I					1	単位			
担当教員	担当教員     原賀 友子     科目区分 講義     40%     演習     実習     60%									60%				
実務経駅	実務経験のある教員等による 授業科目  経験年数:10年 広告、イベントを中心としたスタイリングに従事。経験年数:32年 バーソナルカラーを取り入れ、パーソネルコーディネートのセミナー開催とフォローアップ。経験年数:30年 カラー、基礎デザイン、マーケティング、服装史等のの講師実績。													
授	受業との関	連性	:	た、コ								を指導する。ま に反映出来るよ		
授業目的	服飾デザイ	ンの基	基礎知識と打	支法の	原則を習	得する。								
汉未口叮	審美眼を育	「てプラ	ランニングと	分析力	りをつける	0								
到達日輝	デザインワ	ークや	ファッション	′コーラ	ディネートに	こおいて、プラ	シを立て	て実際に活	舌用すること	が出来る。				
判建口保	到達目標 デザインの効果を分析し、プレゼンテーションできる。													
						授業概	要							
教科書を使用	(科書を使用しながら、随時日常での例や活用法などを交えて基本の知識の講義を行う。													

| その後各テーマデンに宝習を行い| 各自の理解度やスピードに合わせた学習方法を指導する

時期	コマ数	授業内容(	授業展開)					
4月	3	<講義> 概論 ・形態、点、線、シルエット ●プロポーション 人体とアイテム画の基本	<実習> *ワンピース実物と使っての実習					
5月	4	黄金比、ルート比 ●シルエットの分類  ■イリュージョン	*プリント実習 モード・エ・モードを使用					
6月	4	●コンポジションA ドミナント/セントラリティ 構成全体のまとめ方を学ぶ						
7月	3	●コンポジションB シンメトリー/アシンメトリー 構成バランスによる効果を学ぶ <期末テスト>	* 色紙を使用してデザイン制作					
9月	2	<ul><li>●コンポジションC シミラリティ/コントラスト 構成における調和の取り方を学ぶ</li></ul>	*パソコンを使用してマップ制作					
留意	事項	モード・エ・モード(プレタポルテ)を各自購入						
教材、	資料等	文化ファッション大系服飾関連講座⑨ 服飾デザイン 参考プリント、実習プリント(B4ファイル)						
評価 対象・	方法 •比重	西テスト50% ・提出物40% ・取り組み姿勢10% 険、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良° (89~80) (GP 3点)、良 (79~70)、(GP 2点)可 (69 ))(GP 1点)、不可 (59点以下)の判定とする。						

学科名				プロフ	フェッショ	ョナルデザ	イン科	・ファッシ	ョンビジ	ネス科				
分類	必修	0	必須 選択		学年	1	年	学期	前期		後期	0		
			授業	(科目	名	•				<b>!</b>	単位			
			服飾デ	ザイン	/論 I						1単位			
担当教員		原	賀 友子	-		科目区分	講義	40%	演習		実習	60%		
実務経験	険のある教 授業科		による	0	経験 内容		ィネートのセ				1;32年 パーソナル - カラー、基礎デサ	ンカラーを取り入れた イン、マーケティン		
授	養業との関	連性		また、	実務経験を通して培った、コーディネートの実用性と効果を交えつつ基礎知識を指導する。 また、コーディネートやレイアウトの楽しさと可能性を伝え、学生独自の作品制作に反映出来 るよう指導する。									
授業目的	服飾デザインの基礎知識と技法の原則を習得する。													
汉未日町	審美眼を育てプランニングと分析力をつける。													
到達目標	デザインワ	デザインワークやファッションコーディネートにおいて、プランを立て実際に活用することが出来る。												
DET W	デザインの	効果を	分析し、プ	゚レゼン	テーション	<b>/できる。</b>								
						授業概	要							
教科書を使用 その後各テー														
時期	コマ数	授業内容(授業展開)												
	<講義> <実習>													
		<講	義>			授	業内容	(授業展		>				
10月	4	●コン				ィ/コントスト		(授業展	<実習2		<b>してマップ</b>	制作		
10月	4	●コン 構	/ポジション 成におけ /ポジション	る調和 ンD 規	1の取り力 見則/不規	ィ/コントスト 方を学ぶ 規則/グラデ			<実習2		]してマップ	制作		
10月	5	●コン 構	/ポジション 成におけ	る調和 ンD 規	1の取り力 見則/不規	ィ/コントスト 方を学ぶ 規則/グラデ			<実習2		してマップ	制作		
		●コン構 ●コン構	/ポジション 成におけ /ポジション 成におけ	る調和 ンD 規 るリズ・	1の取り力 見則/不規	ィ/コントスト 方を学ぶ 規則/グラデ			<実習2		<b>してマップ</b>	制作		
		●コン 構 ●コン 構	レポジション 成におけ レポジション 成におけ テリアル分	る調和 ンD 規 るリズ. 類	1の取り力 見則/不規 ム表現を	ィ/コントスト 方を学ぶ 規則/グラデ	ーション	,	< 実習 > *パソコ	コンを使用	丰習			
		●コン 構 ●コン 構	レポジション 成におけ レポジション 成におけ テリアル分	る調和 ンD 規 るリズ. 類	1の取り力 見則/不規 ム表現を	ィ/コントスト 方を学ぶ 見則/グラデ ・学ぶ	ーション	,	<実習ご *パソニ ぶ * 実 実 ま	コンを使用 プリントョ 物の布地				
11月	5	●コン構 ●コン構 ●フン・ ・マラデ	レポジション 成におけ レポジション 成におけ テリアル分 クスチャー	る調和	1の取り力 見則/不規 ム表現を ずすデサ	ィ/コントスト 方を学ぶ 見則/グラデ ・学ぶ	ーション	,	<実習ご *パソニ ぶ * 実 実 ま	コンを使用 プリントョ 物の布地	<b>ミ習</b> 也を参考にし			
11月	5	●コン構 ●コン構 ●フン・ ・マラデ	レポジション 成におけ レポジション 成におけ テリアル分	る調和	1の取り力 見則/不規 ム表現を ずすデサ	ィ/コントスト 方を学ぶ 見則/グラデ ・学ぶ	ーション	,	<実習ご *パソニ ぶ * 実 実 ま	コンを使用 プリントョ 物の布地	<b>ミ習</b> 也を参考にし			
11月	3	●コン構 ●コン構 ●フン・ ・マラデ	レポジション 成におけ レポジション 成におけ テリアル分 クスチャー	る調和	1の取り力 見則/不規 ム表現を ずすデサ	ィ/コントスト 方を学ぶ 見則/グラデ ・学ぶ	ーション	,	<実習ご *パソニ ぶ * 実 実 ま	コンを使用 プリントョ 物の布地	<b>ミ習</b> 也を参考にし			
11月	5	● コン構	レポジション 成におけ レポジション 成におけ テリアル分 クスチャー	る調が があり が が が が が が が が が が が が が が が が が が	1の取り力 見則/不表 ム表現を ずすデサ	ィ/コントスト 方を学ぶ 見則/グラデ ・学ぶ	ーション	関係を学	     *パソ     * * * * * * * * * * * * * * * * * *	マンを使用 プリント写 物の布地 地の分類	<b>ミ習</b> 也を参考にし	て成		
11月	3	● コン構 マラー 近イ コン サーフン	/ポジション 成におけ /ポジション 成におけ テリアチャー (大デザイン /ポジション	る レロス 類が の 応称 対ズ 及 歩 用	1の取り力 見則/不表 ム表現を ボすデサ	ィ/コントスト 方を学ぶ 見則/グラデ ・学ぶ	ーション	<b>,</b> 関係を学、	*パソコン *パソコン *パアー/	マンを使用 プリント 切の かの 分類 した かの かの が が の が の の が の の の した した した した した した した した した した した した した	実習 単を参考にし 質マップを作 コーディネ	で成		
11月 12月 1月	3	● コ構 マテ 近 コ基	/ポジシお / ポに が ボスに が ボスに が ボストリアスチー ボック ボッシ が ボッシ が かっぱん かんしゅう かんしゅん かんしゅん かんしゅん かんしゅん かんしゅん かんしゅん かんしゅん かんしゅん かんしゅん かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんし	る レるり 類が の レ活 がい かん かんしょ かん かん かん かん かん 用し	1の取り力 見則/不表 ム表現を ボすデサ	ィ/コントスト 方を学ぶ 見則/グラデ·学ぶ ・ デイン効果と	ーション	<b>,</b> 関係を学、	*パソコン *パソコン *パアー/	マンを使用 プリント 切の かの 分類 した かの かの が が の が の の が の の の した した した した した した した した した した した した した	実習 也を参考にし 質マップを作	で成		
11月	3	● □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	/ポジション 成におけ /ポジション 成におけ テリアチャー (大デザイン /ポジション	る レる 類が の レ活 が がっかん がっかん かん かん かん かん 用し	1の取り力 見則/不見 表現を ずすデザ み	ィ/コントスト 方を学ぶ 見則/グラデ・学ぶ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ く 、 ・ く 、 ・ く 、 、 、 、	ーション	<b>,</b> 関係を学、	*パソコン *パソコン *パアー/	マンを使用 プリント 切の かの 分類 した かの かの が が の が の の が の の の した した した した した した した した した した した した した	実習 単を参考にし 質マップを作 コーディネ	で成		
11月 12月 1月	3	● □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	/ ポスポープ パープ パープ パープ パープ パープ パープ パープ パープ パープ パ	る レる 類が の レ活 が がっかん がっかん かん かん かん かん 用し	1の取り力 見則/不見 表現を ずすデザ み	ィ/コントスト 方を学ぶ 見則/グラデ・学ぶ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ く 、 ・ く 、 ・ く 、 、 、 、	ーション	<b>,</b> 関係を学、	*パソコン *パソコン *パアー/	マンを使用 プリント 切の かの 分類 した かの かの が が の が の の が の の の した した した した した した した した した した した した した	実習 単を参考にし 質マップを作 コーディネ	で成		

留意事項 モード・エ・モード (プレタポルテ)を各自購入

教材、資料等 文化ファッション大系服飾関連講座⑨ 服飾デザイン 参考プリント、実習プリント(B4ファイル)

評価方法 対象·比重 ・評価テスト50% ・提出物40% ・取り組み姿勢10%

\*試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89~80)(GP 3点)、良(79~70)、(GP 2点)可(69~60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。

学科名				プロ	フェッシ	ョナルデザ	イン科	・ファッシ	/ョンビジン	ネス科				
分類	必修	0	必須 選択		学年	1	年	学期	前期	前期 〇 後期				
			授業	(科目	名						単位			
			ブ	カラー						1	単位			
担当教員	原賀 友子 科目区分 講義 70% 演習 実習 30%									30%				
実務経験	験のある教 授業科		<b>手による</b>	0	経験 内容		ィネートのセ		スタイリングに従事。経験年数;32年 パーソナルカラーを取り入れ オローアップ。経験年数;30年 カラー、基礎デザイン、マーケティン					
授	受業との関	連性	<u> </u>	た、コ								を指導する。ま こ反映出来るよ		
授業目的	カラーコー	ディネ	ートの基礎	知識と	技法を習	得する。								
1文未日印	実践的に、	色の見	見分けと選択	尺、適均	刃な技法の	Dプランニング	で習得	する。						
到達目標	デザインワ	ークや	ファッション	′コーラ	ディネートに	こおいて、プラ	ランを立て	て実際に活	舌用すること	ができる。				
判定日际	ファッション	′カラー	-検定3級合	ì格可能	能なスキル	レを習得する。								
						授業概	要			-				

教科書を使用しながら、随時日常での例や活用法などを交えて基本の知識の講義を行う。 その後各テーマごとに実習を行い、各自の理解度やスピードに合わせた学習方法を指導する。

時期	コマ数		授業	内容(授業展開)
4月	2	<講義> 概論 •色彩(	のはたらき	<実習> 道具の確認と配色カード作成
-1/1	2	・色彩の体系 -	三属性 カラーサークル、トーン ヒュー&トーン	カラーサークル作成 トーン表作成
5月	3	•色彩理論	色の成り立ち、光と色 三原色、視覚と色 順応	A4ファイル表紙制作
6月	4		対比、同化 感情効果	プリント実習
7月	4	<期末テスト ・配色技法	色相の配色 トーンの配色 色相とトーンの配色 > 無彩色・柄と無地の配色 ベース、アソート シンメトリー/アシンメトリー	
9月	3			•
留意	事項	モード・エ・モー	ード(プレタポルテ)を各自購入	
教材、	資料等	ファッション色系 実習プリント( <i>A</i>		
評価:		*試験、課題製	% ・提出物30% ・取り組み参 【作物とも優(90点以上)(GP 4点) 〔)、不可(59点以下)の判定とする	. 良° (89~80)(GP 3点)、良(79~70)、(GP 2点)可(69

学科名				プロ	フェッショ	ョナルデザ	イン科	・ファッシ	/ョンビジン	ネス科					
分類	必修	0	必須 選択		学年	1	年	学期	前期	後期					
			授業	科目	名					単位					
カラー										1単位					
担当教員	原賀 友子 科目区分 講義 80% 演習 実習 2									20%					
実務経際	険のある教 授業科		<b>ドによる</b>	による 経験年数;10年 広告、イベントを中心としたスタイリングに従事。経験年数;32年 パーソナルカラーを取り入れたパーソネルコーディネートのセミナー開催とフォローアップ。経験年数;30年 カラー、基礎デザイン、マーケティング、服装史等のの講師実績。											
授	受業との関	連性	:	た、コ								を指導する。ま に反映出来るよ			
授業目的	カラーコー	ディネ	ートの基礎	知識と	技法を習	得する。									
1文未日印	実践的に、	色の見	見分けと選択	R、適 <sup>t</sup>	切な技法の	つプランニング	で習得	する。							
到達目標	デザインワ	ークや	ファッション	コーラ	ディネートに	こおいて、プラ	ンを立て	て実際に活	舌用すること	ができる。					
判建口际	ファッション	カラー	-検定3級合	格可能	能なスキル	を習得する。									

教科書を使用しながら、随時日常での例や活用法などを交えて基本の知識の講義を行う。 その後各テーマごとに実習を行い、各自の理解度やスピードに合わせた学習方法を指導する。

時期	コマ数		(授業展開)
		<講義>	<実習>
10月	4	<ul><li>・色彩構成 レピテーション/グラデーション アクセント/セパレーション</li></ul>	プリント実習 <u>↓</u>
		・ファッション産業における色彩の役割	<b>*</b>
11月	5	・企画段階の色彩	
11/1	3	・生産段階の色彩	
12月	3	・流行配色	プリント実習
		・パーソナルカラー	
1月	3	カラードレープを使っての実演と実習	カラードレープを使用しての実習 色の選別とグルーピング
		<期末テスト> ・カラーコーディネートまとめ	<b>↓</b>
2月	3		
3月	2		
留意	事項	モード・エ・モード(プレタポルテ)を各自購入	
教材、	資料等	ファッション色彩〔 I 〕 実習プリント(A4ファイル)	
評価	方法	・評価テスト60% ・提出物30% ・取り組み姿勢10	0%
対象・		*試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良。 ~60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。	(89~80) (GP 3点)、良(79~70)、(GP 2点)可(

学科名			プロ	フェ	ッショナ	ルデザイン	/科、	ファッシ	ョンビジン	マス科			
分類	必修	0	必須 選択		学年	1	年	学期	前期 〇 後期				
			授業	科目	名					単	位		
アパレル素材論										1単	位		
担当教員		ſ	尹澤 愛			科目区分	講義	80%	演習		実習	20%	
実務経験	険のある教 授業科		学による	0	経験 内容	ンド、個人フ	^トリエ、 -ランス	オーダー の外注パ	-衣装メース ペタンナーと	カーにてノ	パタンナー	を経験。	
授	業との関	連性	Ē	のプロ	セスを指述	尊。様々なメー	カーで	のアパレル	素材と向き	単位 1単位 1単位 演習 実習 200 メーカー、東京コレクション参加スを装メーカーにてパタンナーを経プンナーとしてパターンやオーダー			
授業目的	アパレル の種類や						ことを目	目標とし、	衣服の構成	<b>対要素で</b> あ	うる繊維、え	<b>长、布地</b>	
到達目標	・代表的な	繊維	や織物の種	重類に	関しての	基本的な知識	識を得る	5.					
<b>判</b> 建日倧	<ul><li>繊維や糸</li></ul>	その構造	告、織物組	織なる	どの特徴を	から布地の種	重類を半	別できる	ようになる。	,			
						授業概要	i						

実習を多く取り入れ、実践型の授業とし、素材への興味関心をもたせる。講義とともに実物の布地教材に触れながら、繊維、糸、布地についての基本的な素材への理解を深めてもらう。 【実習】服装調査、様々な布地とふれあう、三原組織の構成、糸製作、カーディング、棉栽培、燃焼実験、染色・注染(染料用植物採集、植物染料、化学染料)、捺染など

時期	コマ数	授業内容(授業展	開)				
4 🖽	0	・アパレル素材の成り立ち	*実習・染色(草木染)デモンストレーション				
4月	2	・布素材の種類や特徴をおおまかに認識する	*実習・さまざまな布地に触れる組成				
		・繊維・糸・布地(繊維について、糸の撚り、3原組織)	*実習・綿花種まき				
5月	4	・繊維の種類と分類、成分と構造、性質・染色の基本	*実習・アパレル素材の認識(服装調査)				
		・天然繊維の種類と特性・・植物繊維(綿 麻)代表的な布均	<b></b>				
		・・動物繊維(毛絹)代表的な布地・・皮革・毛皮・羽毛	*実習·染色(草木染)				
6月	4		*実習・染色(化学染料)デモンストレーション				
0/3	4	・化学繊維の種類と特性、原料と構造・・再生繊維(レーヨ	ン *実習・染色(化学染料)製品染め				
		・・半合成繊維(アセテート トリアセテート プロミックス)・・三	三大合成繊維(ナイロン ポリエステル アクリル				
		・その他の合成繊維・新合成繊維					
7月	3		*実習・生地サンプル帳作成				
8月		夏季休暇 ファッション販売検定課題					
		期末テスト					
9月	3	・糸について(天然繊維・合成繊維の違い、混繊・混紡、海	是織)加工·新素材				
			*実習・糸の構造と太さ				
留意	事項						
教材、	資料等	文化ファッション体系 アパレル素材論、アパレ 3級、その他資料コピー	アル染色論、ファッション販売検定				
<b>≑</b> \\ <i>[</i>	<del></del> ;/+	・テスト70%・提出物(レポート含む)20%・取組姿勢	10%				
評価 対象•		* : 大下70%・提出物(レホート3 む) 20%・取組姿勢10%  *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89~80)(GP 3点)  0)、(GP 2点)可(69~60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。					

学科名			プロ	フェ	ッショナ	ルデザイン	/科、	ファッシ	ョンビジン	マス科			
分類	必修	0	必須 選択		学年	1	年	学期	前期		後期	0	
			授業	科目	名					単	位		
			アパレ	ル素	材論				1単位				
担当教員		ſ	尹澤 愛			科目区分	講義	80%	演習		実習	20%	
実務経験	険のある教 授業科		学による	0	経験内容	ンド、個人フ	゚トリエ、 -ランス	オーダー の外注バ	-衣装メース タンナーと	カーにてん	パタンナー	を経験。	
授	業との関	連性	Ē	のプロ	ロセスを指述	尊。様々なメー	カーで	のアパレル	素材と向き	前期 後期 ( 単位 1単位 演習 実習 20% メーカー、東京コレクション参加フ な装メーカーにてパタンナーを経 ンナーとしてパターンやオーダー			
授業目的			各自制作の				ことを目	目標とし、	衣服の構成	<b>対要素で</b> あ	ある繊維、タ	<b>长、</b> 布地	
到達目標	・代表的な	繊維	や織物の種	重類に	関しての	基本的な知識	識を得る	5.					
判连日保	<ul><li>繊維や糸</li></ul>	その構造	告、織物組	織など	どの特徴な	から布地の種	重類を半	別のできる	ようになる。	)			
						極光細曲	-						

実習を多く取り入れ、実践型の授業とし、素材への興味関心をもたせる。講義とともに実物の布地教材に触れながら、繊

維、糸、布地についての基本的な素材への理解を深めてもらう。 【実習】服装調査、様々な布地とふれあう、三原組織の構成、糸製作、カーディング、棉栽培、燃焼実験、染色・注染(染料用植物採集、植物染料、化学染料)、捺染など

		ł、化学染料)、捺染など					
時期	コマ数	授業内容(授業展開)					
		織物について					
10月	3	(織物の三原組織・一重組織・重ね組織	*実習・カーディング・撚糸				
10/7	J	・パイル組織・特殊組織など)					
		編み物について					
		(ニットの組織について、また織物との構造					
11日	4	・特性の違い)	*実習・捺染(型染め)				
11月	4	繊維製品に関する品質表示、取り扱い表示、					
		衣料サイズについてさまざまな加工・新素材について					
		副資材について					
12月	4	(裏地・芯地・ボタン・ファスナー・縫い糸)	*実習·燃焼実験				
		さまざまな加工・新素材について					
1 🗆	0	レースについて					
1月	2	天然皮革(革の種類、構造、特質、なめしなど)	*実習・ウィービング				
		合成皮革・人工皮革					
2月	3	毛皮・人工毛皮・羽毛・合成材脂					
		生地サンプルを使用した素材の判別	*実習・素材の判別				
		期末テスト					
3月	3	【布サンプル帳作り】					
		まとめ・発表					
留意	<b>事</b> 項						
教材、資	資料等	文化ファッション体系 アパレル素材論、アパレル染色 3級、その他資料コピー	.論、ファッション販売検定				
⇒π: <i>!</i>	1.24	・テスト70%・提出物(レポート含む)20%・取組姿勢10%					
評価: 対象・		*試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良° (89~80)(GP 3点)、良(79~0)、(GP 2点)可(69~60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。					

学科名					プロ	コフェッショ	ナルテ	デザイン和	斗				
分類	必修	$\circ$	必須 選択		学年	1	年	学期	前期	0	後期		
			授業	終科目	名				単位				
デザイン画										1単位			
担当教員		吉	永 あすれ	ζı		30%			実習	70%			
実務網	実務経験者の授業科目 ○ 経験 内容 ウエディング衣装店にてチーターメイド衣装デザイナーとデーマパークユニフォーム、シ、制作をフリーランスで行った。							イナーとし ォーム、舞	て独立後、	ウエディン	グドレス、舞	台衣装、	
授業と	の関連性					いし、デザイン 技術を教授 <sup>・</sup>		おいての	色彩感覚。	や着色方	法、トータ)	ルバラン	
授業目的	ファッショ	アッションデザイン画の基本技術から応用技術までの習得											
到達目標	人体のプロポーションを把握し、衣服のイメージ、バランスを読み取る力、表現する力を身に付ける。												

教科書の内容に加え、カラー、トレーシング、コラージュなどの多様な技法を取り入れ、様々な画材や素材に触れることで、デザイン画の創造性を広げます。前半は簡単なワーク、後半は各自が独自の作品を制作できるようサポートし、達成感と更なる創作意欲を育みます。最終的には、それぞれの個性や才能を開花させ、自ら成長できるよう導くことを目指します。

時期	コマ数	授業内容(授業展開)
4月	3	・D画の描き方→自由画を自己紹介代りに描く ・ワークを通して鉛筆の使い方からはじめる ①ストロークトレーシング(線を描くワーク) ②立体と陰影(色彩のワーク)
5月	4	・人体のプロポーションの描き方、考え方(自由画比較) ・様々なポージング(正面・斜め・応用) ・着装表現 (身体に対応する衣服のボリューム・丈の関係を学ぶ) ・動きのある画の描き方、考え方 (人物と衣服の動きを学ぶ) ・布目の表現 (パターンや表現によって変わる布目を理解して描く)
6月	4	<ul><li>・色彩表現</li><li>(デッサンに着色してみながら様々な画材の取り扱いを学ぶ)</li><li>・想像デザイン画</li><li>(個々のD画スタイルの追求)</li></ul>
7月	3	<ul><li>・コンクールに挑戦</li><li>①連鎖校コンクール作品</li><li>・夏季休暇課題についての説明</li></ul>
9月	3	<ul><li>・コンクールに挑戦</li><li>②全国服飾学校ファッション画コンクール</li><li>・コンクール作品について考える</li><li>・コンクール作品を通して、各自個々のスタイルを追求し表現する</li></ul>
留意	事項	
教材、資	資料等	・文化ファッション大系服飾関連専門講座⑤ファッションデザイン画 ・自作ファイル
評価:		・提出作品70%・提出状況15%・取組姿勢15% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良° (89~80)(GP 3点) 良(79~70)(GP 2点)、可(69~60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。

学科名					プロ	コフェッショ	ナルテ	デザイン和	斗				
分類	必修	0	必須 選択		学年	1	年	学期	前期後期○				
			授業	(科目	名				単位				
デザイン画										1単位			
担当教員		놤	永 あすれ	<i>3</i> 2		科目区分	講義	30%	演習		実習	70%	
実務	経験者の	授業和	斗目	$\circ$	経験 内容	ダーメイド衣	装デザ/ フユニフ:	イナーとし <sup>~</sup> ォーム、舞	フデザイナー、ドレス制作などを経て、スて独立後、ウエディングドレス、舞台衣: ほも美術デザイン、ヘアメイクなどのデサ				
授業と	:の関連性	:				心、デザイン 支術を教授 <sup>・</sup>		おいてのも	色彩感覚や	冷着色方法	去、トータバ	レバラン	
授業目的	ファッショ	アッションデザイン画の基本技術から応用技術までの習得											
到達目標	到達目標 衣服の構造、縫製を理解し、デザイン画として表現するスキルの習得												
				-		运柴瓶田							

教科書の内容に加え、カラー、トレーシング、コラージュなどの多様な技法を取り入れ、様々な画材や素材に触れることで、デザイン画の創造性を広げます。前半は簡単なワーク、後半は各自が独自の作品を制作できるようサポートし、達成感と更なる創作意欲を育みます。最終的には、それぞれの個性や才能を開花させ、自ら成長できるよう導くことを目指します。

	1	
時期	コマ数	授業内容(授業展開)
10月	4	・コンクールに挑戦 ②全国服飾学校ファッション画コンクール 完成素材表現 (生地サンプルを観察して衣類に用いられる素材をリアルに描く) ※素材表現とは 感触の「線」を描くワーク ①綿・麻
11月	5	<ul> <li>②毛織物</li> <li>③ ニット</li> <li>④ 毛皮・キルティング</li> <li>⑤ 光沢素材</li> <li>⑥シースルーレース</li> <li>※サンプル表現、着飾表現素材を意識したD画を描く</li> </ul>
12月	2	
1月	4	
2月	3	・自由画作品 これまでのスキルを自由なテーマでD画に表現する
3月	2	<ul><li>・一年間のまとめ これまでの作品をファイルにまとめる</li></ul>
留意	事項	
教材、資	資料等	<ul><li>・文化ファッション大系服飾関連専門講座⑤ファッションデザイン画</li><li>・自作ファイル</li></ul>
評価: 対象・		・提出作品70%・提出状況15%・取組姿勢15% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良 <sup>°</sup> (89~80)(GP 3点) 良(79~70)(GP 2点)、可(69~60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。

学科名				プロ	フェッショ	ョナルデザ	イン科	・ファッシ	/ョンビジン	ネス科			
分類	必修	0	必須 選択		学年	1	年	学期	前期	0	後期		
			授業	科目	名				単位				
西洋服装史 1単位													
担当教員		厉	原賀 友子	-		科目区分	講義	100%	演習		実習		
実務経験のある教員等による 授業科目  経験年数;10年 広告、イベントを中心としたスタイリングに従事。経験年数;32年 バーソナルカラーを取り入れ バーソネルコーディネートのセミナー開催とフォローアップ。経験年数;30年 カラー、基礎デザイン、マーケティン グ、服装史等のの講師実績。													
授	受業との関	連性				て培ったデサ ージに繋ぐ。	ゲイン分	析やトレン	ド分析手法	を取り入れ	ι、服装史と	の関連性を実	
授業目的	授業目的 服装の歴史を振り返ることで、社会背景や技術開発などと、服装の関係性や、流行の発生について学ぶ。 また、過去のデザインや制作の過程を知ることで、デザイン発想に取り入れたり、商品知識を深めて販売につなげる。												
到達目標時代性と社会背景を考慮した上で、服飾価値を理解し、トレンド分析や商品企画、販売に応用できる。													
						<b>授業</b> 概	再						

参考資料をもとに、時代背景や各時代の特徴的な服装とその時代のファッション産業について講義する。 出来るだけ具体的な事象や服装などの画像資料を見せながら、風俗や音楽やダンスなどのエンタメも交えて紹介することで、難しい座 学というよりも、時代の空気とファッションを楽しみながら身近なものに感じられるような講義にする。

時期	コマ数	授業内容(授業展開)
4月	2	<ul><li>・概論</li><li>・服飾の起源</li><li>・衣服の基本形</li></ul>
5月	3	<ul> <li>・古代 オリエント(メソポタミア、シュメール、バビロニア、アッシリア、アケメネス朝ペルシア) エジプト(古代王国時代、中王国時代、新王国時代) ギリシア・エーゲ海文明(クレタ文明、ミケーネ文明、ギリシア文明) ローマ</li> <li>・中世 5~10世紀 ビザンティン帝国、ヨーロッパゲルマン民族</li> </ul>
6月	4	11~12世紀 <ロマネスク> 13~15世紀 <ゴシック> 15世紀 イタリア<イタリアルネサンス> 16世紀 スペイン、フランス、イギリス<ルネサンス> 17世紀 オランダスタイル・ルイ14世時代<バロック>
7月	4	18世紀 ルイ15世時代・ルイ16世時代〈ロココ〉  ・近世 19世紀 フランス革命〜第一帝政時代〈エンパイアスタイル〉 フランス王政復古〜七月王政時代〈ロマンティックスタイル〉 フランス第二帝政時代〈クリノリンスタイル〉
9月	3	フランス第三共和政時代<バッスルスタイル> <期末テスト> ・服装史まとめ ・民族服と平民の服装について
留意	事項	キトンやトガを実物の布を使って着装体験をしたり、実物のアイテムを見せたりと体験を織り込む。 重要な箇所にはプリントへの書き込みを指示したり、ポイントアドバイスをして学習のサポートをする。
教材、資	資料等	・プリント資料(A4ファイル)
評価;		評価テスト90% 取り組み姿勢10% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89~80)(GP 3点)、良(79~70)、(GP 2点)可(69~60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。

学科名				プロ	フェッシ	ョナルデザ	イン科	・ファッシ	/ョンビジ	ネス科		
分類	必修	$\circ$	必須 選択		学年	1	年	学期	前期		後期	0
			授業	(科目	名						単位	
近代服装史										1	単位	
担当教員		原	頁質 友子	-		科目区分	講義	100%	演習		実習	
実務経験	実務経験のある教員等による 授業科目  経験年数;10年 広告、イベントを中心としたスタイリングに従事。経験年数;32年 パーソナルカラーを取り パーソネルコーディネートのセミナー開催とフォローアップ。経験年数;30年 カラー、基礎デザイン、マーケ 服装史等のの講師実績。											
授	受業との関	連性	:			て培ったデナ ージに繋ぐ。	ゲイン分	析やトレン	ド分析手法	を取り入れ	ι、服装史と	の関連性を実
授業目的	服装の歴史を振り返ることで、社会背景や技術開発などと、服装の関係性や、流行の発生について学ぶ。 また、過去のデザインや制作の過程を知ることで、デザイン発想に取り入れたり、商品知識を深めて販売につなげる。											
到達目標 時代性と社会背景を考慮した上で、服飾価値を理解し、トレンド分析や商品企画、販売に応用できる。												

参考資料をもとに、時代背景や各時代の特徴的な服装とその時代のファッション産業について講義する。 出来るだけ具体的な事象や服装などの画像資料を見せながら、風俗や音楽などのエンタメも交えて紹介することで、難しい座学というよりも、時代の空気とファッションを楽しみながら身近なものに感じられるような講義にする。

時期	コマ数	授業内容(授業展開)
10月	4	20世紀 ベルエポック アールヌーボー様式 < S字スタイル > '20 第一次世界大戦 ギャルソンヌ、アールデコ様式
11月	4	<ul><li>30 第二次世界大戦 バイアスカットとスリム&amp;ロング、スキャパレリ</li><li>30 戦後復興と大量消費時代 ニュールックとディオールのラインシリーズ</li><li>750 アメリカンスタイル、日本の戦後復興と洋装化</li></ul>
12月	3	<ul><li>'60 若者主導の時代 オートクチュールの衰退とプレタポルテ時代の到来</li><li>'70 ファッションの多様化 既存の体制崩壊と価値観の変化</li><li>'80 ファッションの原点返り バブル経済、そしてベルリンの壁の崩壊へ</li></ul>
1月	3	<ul><li>'90 情報化社会のストリートファッション 複数の価値観</li><li>21世紀 ミックスファッションの時代 ファッションのグローバル化</li><li>'10 世代を超えたサブカルチャー カルチャーの融合と情報化社会</li></ul>
2月	4	*近代服装史まとめ <期末テスト>
3月	2	*服装史まとめ 現代のファッションとクラスター ディスカッションとレポート発表
留意	事項	キトンやトガを実物の布を使って着装体験をしたり、実物のアイテムを見せたりと体験を織り込む。 重要な箇所にはプリントへの書き込みを指示したり、ポイントアドバイスをして学習のサポートをする。
教材、資	資料等	・プリント資料(A4ファイル)
評価: 対象・		評価テスト90% 取り組み姿勢10% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89~80)(GP 3点)、良(79~70)、(GP 2点)可(69~60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。

学科名					プロ	フェッショブ	トルデ	ザイン科				
分類	必修	$\circ$	必須 選択		学年	1	年	学期	前期	0	後期	
			授業	(科目	名	•				単	位	•
			ファッショ	ンビジ	ジネス論					1単	位	
担当教員		ļ	馬場裕二			科目区分	講義	70%	演習		実習	30%
実務経験	験のある教 授業科		による	0	経験 内容	経験年数:5年 業務内容:アパレル販売代行サービス会社にて商品企画・管理、店舗管理に従事。後新規事業部にて店舗の企画、開業、運営に従事。 経歴: 自社プランドの商品企画、商品管理、店舗及びスタッフの管理業務から店舗の企画~開業、i (仕入/接客/補正/リメイク)等の店舗経営全般に従事。						
授	受業との関	連性		までの	の企画〜( )経験を路 と通して教	土入(古着含む 皆まえ、アパレ な授する。	」。)〜販デルの基本	売〜補正(!             	リメイク)まで 見場から得7	で、店舗の た消費者=	企画〜開業ニーズ等を、	を で 運営 講義と
授業目的	服飾にお	おけるこ	ファッショ、	ンビジ	ジネスのえ	基礎を学び	、時代	の変化を	を捉える			
到達目標	ビジネス					ッションには	おける記	ち向の幅	を広げる	, )		
					授業区	内容(授業)	展開)					
時期	コマ数						授業内	容				
4月	4	<ul><li>ファ</li><li>ファ</li><li>ファ</li></ul>	ッションヒッション ッション ッションヒ ッションヒ	゙゙ジネ ゙゙゙゙ゔネ	ス <b>①</b> ※ ス <b>②</b> ※	※CtoCにつ ※FBに求め	_					
5月	4	•消費 •消費	費者❷	ECサ	イトの関	を受ける 閲覧 て上記を体	験し、	消費者の	カニーズ	や		
6月	4	•195 •197 •199	ツションと 0年、196 0年、198 0年、200 0年、202	0年 0年 0年	※: · 年	墨】 2020年代の ■代ごとのつ			レチャー	をわかり	やすく解	説
7月	3	•ファ •ファ	美構造・流・ツション 産・ツション 産・ツション 産	産業の 産業の	·構造 <b>①</b> ·構造 <b>②</b>		流通市	場につし	ハて補足	(SDGS、ī	古着等)	
8月		夏休	み(課題:	名称	復習、過	盘去問)						
9月	2	., .	通の基礎 気 ペレル生産 重		易							
留意	事項											
教材、資	資料等	教科	書(ファッ	ション	ビジネン	ス、販売技術	析①)					
評価: 対象·		*試馬		是作物	かとも優(	90点以上) 60)(GP 1.						₹(79

学科名				プ	ロフェッショナ	ールデザ	イン科					
分類	必修	○ 必須 選択		学年	1	年	学期	前期		後期	0	
		授	業科目	名				-	単位			
		ファッシ	ョンビジ	ネス論					1単位	Ĺ		
担当教員		馬場裕二			科目区分	講義	70%	演習		実習	30%	
実務経	験のある教授業科	t員等による 目	0	経験 内容	経験年数:5年 業務 部にて店舗の企画、 経歴: 自社プランド 営(仕入/接客/補正/	開業、運営に1 の商品企画、P	送事。 商品管理、店舗2	及びスタッフの管理等				
1	受業との関	連性			入(古着含む)〜 ルの基本構造と							
授業目的	服飾におり	ナるファッションし	ごジネス	の基礎	を学び、時代	の変化	を捉える					
到達目標		らの視点を身に き、自身の魅力を			ョンにおける	志向の帕	届を広げる	5				
				授業	内容(授業国	長開)						
時期	コマ数					授業内	<del>容</del>					
10月	5	【経営と情報活 【ファッションマ ・ファッションマ ・ファッションリサ	ーケテ ーケテ ナーチ	イングとマイング	マーチャンダ			を獲得する	手段とし	て、		
11月	4	<ul><li>売り場作り(販・係数管理</li></ul>	<ul><li>※二次流通市場について補足</li><li>売り場作り(販売技術①P152~)</li><li>係数管理</li><li>スタッフの業務(販売技術①P198~)</li></ul>									
12月	4	・企業のルール 【ロールプレイン ①購買心理、技 ②基本動作、お ③ニーズとウォ	/グ実践 接客8大 3出迎え	嵬】 用語、第	5一印象	対策						
1月	3	④セールストー ⑤提案、フィテ ⑥クロージング	イング	ージンク	ゲセールス							
2月	3	⑦クローゼット〜 ⑧通しロープレ ⑨テスト		送り								
3月	2	【VMD】①レイフ ②レイアウト実践			7)							
	<b></b> 事項											
教材、資	資料等	教科書(ファッミ	書(ファッションビジネス、販売技術①)									
評価:		試験70%・取組 *試験、課題製 (GP 2点) 可(6	作物と	5優(90.					3点)、良	(79~70	)),	

学科名				プロ	フェッショ	ョナルデザ	イン科	・ファッシ	ョンビジン	ネス科				
分類	必修	0	必須 選択		学年	1	年	学期	前期	0	後期			
			授業	科目	名				単位					
ファッションコーディネート 2単位														
担当教員	員   原賀 友子   科目区分 講義   40%   演習   実習											60%		
実務経駅	険のある巻 授業科		<b>ドによる</b>	0	経験 内容	■ハーソネルコーティネートのヤミナー開催とフォローチップ								
授	受業との関	連性	:	た、コ								を指導する。ま に反映出来るよ		
授業目的ファッションコーディネートの基礎知識と分類、分析の手法を学ぶことで、リサーチや商品企画、接客力に反映させる。														
到達目標 マーケティング上の分類方法を理解し、調査分析ができる。 相手の要望を理解し、コーディネートのポイントを相手に合わせてプレゼンテーションできる。														

参考資料を使用しながら、随時日常での例や活用法などを交えて基本の知識の講義を行う。 その後各テーマごとに実習を行い、各自の理解度やスピードに合わせた学習方法を指導する。

Met		<b>□</b>
コマ数		
3	<ul><li>●概論</li><li>●ファッションコーディネートとは</li></ul>	<実習> *パソコンを使用してマップ制作
	●コーディネート分類 ●ファッション感性	ファッションイメージマップ (ワンピース制作のための イメージを決める
4	●トレンド分析 A/Wコレクショントレンドの分類と分析 繊研新聞を参考に最新トレンドを学ぶ 注目トレンドのリサーチとプレゼンテーション	*プリント実習 トレンドテーマを理解し分類する 注目トレンドのレポート制作
4	●オケージョン分類 条件を設定し、コーディネートを選択する	*パソコンを使用しマップ制作
		木み宿題
	余件を設定し、コーアイネートをする	コーディネートを撮影し、マップ作成
3	<期末テスト>	
	<ul><li>■スタイル分類</li><li>各スタイルの特徴をつかみ、コーディネートを選択する</li><li>(ヨーロピアン、ブリティッシュ、イタリアン、アメリカンな</li></ul>	
2		
事項	モード・エ・モード(プレタポルテ)を各自購入・課題研究	で各自実習を進める
資料等	・参考プリント、実習プリント(A4ファイル) ・ファッション販売3 ・ファッションビジネス[I]改訂版	
1.7/1.	・評価テスト50% ・提出物40% ・取り組み姿勢10%	
	*試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP4点)、良°(89~)	80) (GP 3点)、良(79~70)、(GP 2点)可(69
<b>心</b> <del>工</del>	~60) (GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。	
	4 4 3 2	<ul> <li>(講義)</li> <li>●概論</li> <li>●ファッションコーディネートとは</li> <li>●コーディネート分類</li> <li>●ファッション感性</li> <li>4</li> <li>●トレンド分析 A/Wコレクショントレンドの分類と分析 繊研新聞を参考に最新トレンドを学ぶ 注目トレンドのリサーチとプレゼンテーション</li> <li>4</li> <li>●オケージョン分類 * 東保を設定し、コーディネートを選択する</li> <li>●テイスト分類 * 東保を設定し、コーディネートをする * 各自:</li> <li>3</li> <li>●アイスト分類 * 水</li></ul>

学科名				プロ	フェッショ	ョナルデザ	イン科	・ファッシ	ョンビジン	ネス科		
分類	必修	0	必須 選択		学年	1	年	学期	前期		後期	0
			授業	科目	名					-	単位	
		フ	アッション	/コー	ディネー	-}				2	単位	
担当教員		厉	頁質 友子	-		科目区分	講義	40%	演習		実習	60%
実務経験	経験のある教員等による 授業科目  経験年数:10年 広告、イベントを中心としたスタイリングに従事。経験年数:32年 バーソナルカラーを取り入れた バーソネルコーディネートのセミナー開催とフォローアップ。経験年数:30年 カラー、基礎デザイン、マーケティン グ、服装史等のの講師実績。											
授	実務経験を通して培った、コーディネートの実用性と効果を交えつつ基礎知識を指導する。 授業との関連性 た、コーディネートやレイアウトの楽しさと可能性を伝え、学生独自の作品制作に反映出来る。 う指導する。											r指導する。ま 反映出来るよ
授業目的	ファッション	⁄コーラ	ディネートの	基礎矢	□識と分類	「、分析の手法	を学ぶ	ことで、リサ	ーチや商品	品企画、接	客力に反映	させる。
到達目標						分析ができる /トを相手に合		プレゼンラ	テーションで	きる。		
						授業概	要					
	参考資料を使用しながら、随時日常での例や活用法などを交えて基本の知識の講義を行う。 その後各テーマごとに実習を行い、各自の理解度やスピードに合わせた学習方法を指導する。											
時期	コマ数					授美	業内容	(授業展	提開)			
		<講	義 >						<実習>	<u> </u>	<u></u>	<del></del>

時期	コマ数	授業内容(授業展開)
10月	4	<講義> <実習> ■スタイル分類
11月	5	●シルエット分析 コレクション誌、ファッション誌、ショップのリサーチと分析方法  ●トレンド分析 S/Sコレクショントレンドの分類と分析 *プリント実習 ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **
12月	3	<ul> <li>●イメージ分析応用 デザインの傾向と消費者心理との関係について</li> <li>●ブランド調査</li></ul>
1月	3	<期末テスト> プレゼンテーション
2月	3	まとめ
3月	2	
留意	事項	モード・エ・モード(プレタポルテ)を各自購入・課題研究で各自実習を進める
教材、	資料等	・参考プリント、実習プリント(A4ファイル) ・ファッション販売3 ・ファッションビジネス[I]改訂版
評価:		・評価テスト50% ・提出物40% ・取り組み姿勢10% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良 <sup>°</sup> (89~80)(GP 3点)、良(79~70)、(GP 2点)可(69~60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。

学科名		プロフェッショナルデザイン科・ファッションビジネス科										
分類	必修     ○     必須 選択     学年     1     年     学期     前期								前期	0	後期	
授業科目名												
特別講義 1単位												
担当教員	特別講義関連講師 科目区分 講義 90%										実習	10%
授業目的	・社会人として必要とされる一般常識、知識、教養を身に付ける ・美的感覚、感性を養う為に美術館等で様々な物を鑑賞する ・様々なライフスタイルの方々を講師に招き、企画やプランニングを行なう為に必要な知識を学ぶ											
アパレルだけでなく社会人としての知識の幅を広げ、身に付けた知識、教養を各自のデザイン創造、企画等に活かす 到達目標 様々なアートを見て、触れて本物を見る目を養い感性を伸ばす。												
授業概要												

教材を基に座学で習得する知識だけでなく、アパレル分野に限らず様々な知識を特別講義関連講師より学ぶ。「知る」を増やし、様々なアートに触れ、感性を養う。

### 授業内容(授業展開) 時期 コマ数 授業内容 セルフマネジメント講習① 1 4月 1 校外研修事前説明会 校外研修 1 学生実行委員会に関する説明会・オリエンテーション 1 セルフマネジメント講習② 1 5月 DVD鑑賞 「ファッション関連」 1 大掃除 1 特別講義 (業界にて活躍中の卒業生によるセミナー、特別講師 デザイナーによる授業等) 1 セルフマネジメント講習③ 1 6月 1 大掃除 毛皮セミナー 1 サマーファッションコンテスト事前審査会 1 7月 セルフマネジメント講習④ 1 サマーファッションコンテスト事前準備・リハーサル 1 セルフマネジメント講習⑤ 1 9月 ー般常識(電気・エネルギーに関して、金融に関して、選挙に関して、薬物に関して等) 1 大掃除 1 ー般常識についてのセミナーは特別支援相談・不動産・キャリアプラン・年金・保険・アクティブラーニング・ 精神、心の病・論理的思考について・就職関係・薬物乱用防止・繊研新聞社セミナー等、その都度学生に 留意事項 必要とする講義を実施。 教材、資料等 レポート・提出物等80%、取組姿勢・出欠20% 評価方法 \*試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89~80)(GP 3点)、良(79~70)、 対象·比重 (GP 2点)可(69~60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。

学科名	プロフェッショナルデザイン科・ファッションビジネス科												
分類	必修	0	必須 選択		学年	1	年	学期	前期		後期	0	
授業科目名										単位			
特別講義									1単位				
担当教員	特別講義関連講師					科目区分	講義	90%	演習		実習	10%	
・社会人として必要とされる一般常識、知識、教養を身に付ける ・美的感覚、感性を養う為に美術館等で様々な物を鑑賞する ・様々なライフスタイルの方々を講師に招き、企画やプランニングを行なう為に必要な知識を学ぶ													
到達目標	アパレルだけでなく社会人としての知識の幅を広げ、身に付けた知識、教養を各自のデザイン創造、企画等に活かす 達目標 様々なアートを見て、触れて本物を見る目を養う。												

教材を基に座学で習得する知識だけでなく、アパレル分野に限らず様々な知識を特別講義関連講師より学ぶ。「知る」を増やし、様々なアートに触れ、感性を養う。

なアートに触れ	し、感性を養	්ට්. 								
授業内容(授業展開)										
時期	コマ数	授業内容								
	1	中・高校性ファッション画コンテスト 表彰式事前準備及びリハーサル								
10月	1	特別講義 (業界にて活躍中の卒業生によるセミナー、特別講師 デザイナーによる授業等)								
	1	大掃除								
	1	美術鑑賞(美術館等の展覧会鑑賞、観覧前セミナー)								
11月	1	DVD鑑賞「ファッション関連」								
11万	1	一般常識(電気・エネルギーに関して、金融に関して、選挙に関して、薬物に関して等)								
	1	大掃除								
	1	国内・海外研修に関して事前説明会								
12月	1	DVD鑑賞 「ファッション関連」								
	1	大掃除								
	1	美術鑑賞(美術館等の展覧会鑑賞、観覧前セミナー)								
1月	1	一般常識(電気・エネルギーに関して、金融に関して、選挙に関して、薬物に関して等)								
	1	大掃除								
	1	就職関係(企業セミナー、Jobカードセミナー等)								
2月	1	DVD鑑賞 「ファッション関連」								
	1	大掃除								
3月	1	学生実行委員会に関して 次年度に向けた移行準備								
3月	1	一般常識(電気・エネルギーに関して、金融に関して、選挙に関して、薬物に関して等)								
留意事	事項	一般常識についてのセミナーは特別支援相談・不動産・キャリアプラン・年金・保険・アクティブラーニング・精神、心の病・論理的思考について・就職関係・薬物乱用防止・繊研新聞社セミナー等、その都度学生に必要とする講義を実施。								
教材、資	科等									
評価方法 対象·比重		レポート・提出物等80%、取組姿勢・出欠20% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89~80)(GP 3点)、良(79~70)、 (GP 2点) 可(69~60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。								

学科名		プ	ロフェッショブ	ナルデザイン	/科・フ	アッション	ンビジネス	<b>以科</b>					
分類	必修	○ 必須 選択	学年	1.2.3.4	年	学期	前期	$\circ$	後期				
	授業科目名							単位					
		イベント・	·学校行事	1単位									
担当教員		関連講師		科目区分		5%	演習		実習	95%			
授業目的	<ul><li>イベントや</li><li>学校行事</li></ul>	社会人として必要とされる一般常識、知識、教養を身に付ける イベントや行事実施にあたって必要とされる企画・準備・実施を通し、社会性・協調性を身に付ける。 学校行事の運営を通して職業人としての責任と自信を涵養。											
到達目標	・担当、役割	担当、役割に応じた運営を行い、学科・学年を超えてコミュニケーションを取り合い、イベント・行事を成功へと導く。											
				授業概要									
		で実習を行う。「知・指導する講師のも											
				内容(授業									
時期	授業内容	ř											
	校外研修	事前説明会及び	学科・学年を	超えたコミュ	ニケーシ	ンョン							
4月	校外研修												
	校外研修												
	学生実行	学生実行委員会に関する説明会・オリエンテーション											
5月	各学生実行委員毎に年間スケジュール計画												
973	各学生実行委員毎に年間スケジュール計画・役割決め												
	サマーファッションコンテスト実施に向けた活動①												
	サマーファッションコンテスト実施に向けた活動②												
6月	サマーファッションコンテスト実施に向けた活動③												
0)1	サマーファッションコンテスト実施に向けた活動④												
	サマーファッションコンテスト実施に向けた活動⑤												
	サマーファッションコンテスト 事前審査会実施												
7月	サマーファッションコンテスト事前準備・リハーサル												
	サマーファッションコンテスト実施												
9月	サマーファッションコンテスト まとめ												
	中・高校生ファッション画コンテスト表彰式実施に伴う活動①												
	中・高校生ファッション画コンテスト表彰式実施に伴う活動②												
留意事項		学生実行委員会 実行委員・卒業企			学生広	報委員・学	生ECクラフ	*・サマー	ファッションコ	シテスト			
教材、資	<b>資料等</b>												
評価方法 対象·比重		行事・イベント実施 勢優(90点以上 点)、不可(59点)	()(GP 4点)、良	(89~80)									

学科名			プ	゜ロフュ	ェッショナ	トルデザイン	/科・フ	ファッショ	ンビジネス	科			
分類	必修	0	必須 選択		学年	1.2.3.4	年	学期	前期		後期	0	
			授業	科目	名				単位				
	行事					1単位							
担当教員	関連講師 科目区分 講義 5% 演習 実習								実習	95%			
授業目的	・イベントや	社会人として必要とされる一般常識、知識、教養を身に付ける イベントや行事実施にあたって必要とされる企画・準備・実施を通し、社会性・協調性を身に付ける。 学校行事の運営を通して職業人としての責任と自信を涵養。											
到達目標	•担当、役割	担当、役割に応じた運営を行い、学科・学年を超えてコミュニケーションを取り合い、イベント・行事を成功へと導く。											
						授業概要							
習得した知識を各行事・イベン													
					授業	内容(授業	展開)						
時期						授業	纟内容						
	中•高校生	Eファ:	ッション画コ	コンテン	スト表彰コ	式実施に伴う	活動③	)					
10月	中・高校性ファッション画コンテスト 表彰式事前準備及びリハーサル												
	中•高校性	中・高校性ファッション画コンテスト 表彰式実施											
	中・高校性ファッション画コンテスト 表彰式 まとめ												
11月	学生イベント企画 活動① ドレスコードイベント												
11/7	学生イベン	学生イベント企画 活動② ドレスコードイベント											
	学生イベント企画 活動③ ドレスコードイベント												
	学生イベン	学生イベント企画 活動⑤ スポーツ大会											
12月	学生イベン	学生イベント企画 活動⑥ スポーツ大会											
	卒業企画発表 実施に向けた活動①												
	卒業企画発表 実施に向けた活動②												
1月	卒業企画発表 実施に向けた活動③												
	卒業企画発表 実施に向けた活動④												
	卒業企画発表 実施に向けた活動⑤												
2月	卒業企画発表 事前準備・リハーサル												
	卒業企画発表 実施												
3月	卒業企画発表 まとめ												
	学生実行	学生実行委員会に関して 次年度に向けた移行準備											
留意事	耳		実行委員会 委員・卒業쇼			/ト企画委員・ ぶ含まれる	学生広	報委員•学	生ECクラブ	・サマー	ファッションコ	ェンテスト	
教材、資	料等												
評価力 対象・J		勢優		:) (GP	4点)、良	の取組み50% 。。(89~80) ける。							